



Art Credit: Dyanna Csaposs of Serpen Collective

メッセージフロムヴィーナス コントンプレセレモニー with リヴ・モカイ・ウィーラー

リヴ・ウィーラーからのメッセージ

2004年、私は夜空に取りつかれたように魅了されている自分に気付きました。私に向かってはっきりと伝わって来るエネルギーがあり、私はそれを理解しようとしていました。すぐに、私はそれが金星であることを知りました。

金星は、私を発見の旅に連れて行ってくれました。当時の私は、ずっとそのことばかり考えていました。それは金星のトランジットのせいだと学びました。どういうわけか、私はそこに深遠な重要性を感じ、自分と同じように感じている人が他にもいるかオンライン上を探し回りました。

時々、私たちは、自分では意識していなくても、物事を深く知っていることがあります。

次のトランジットが2012年に起こった時、再び私は深く引きこまれました。2012年のその日に感じたような深い愛を、今世で経験したことがあるかは分かりません。私の中にポジティブな光が宿ったようでした。

私は長年にわたり、様々な方法で偉大な女神に敬意を捧げてきました。最近の2年間で、彼女はより直接的に私とコミュニケーションを取るようになりました。そして気づいたのですが、私が供物を捧げていたのは、地球的な形に現れた金星だったのです。また、私が繋がっているのは、金星のエーテル神殿だったことが明らかになりました。そして、数日前、コントンプレは、彼女が私たちと共によりダイレクトなワークをする準備ができていることを、はっきり伝えてくれました。

フローレンシアやグレートホエールビーイングたちと一緒に、金星とつながるコミュニティのメディスンセレモニーに参加できることは、とても光栄です。このつながりは、先日のグローバルオンラインセレモニー「And Still We Rise」がきっかけとなりました。金星からのエネルギーを感じるのには素晴らしいかったです。コントンプレは、彼女の周波数をストリーミングしていました。それは永遠に増幅された愛でした！

今、現れている金星のエネルギーは、私たちが入ったばかりの新しい時代の始まりに直結していると、私は信じています。それは人生を肯定する様々な愛の表現、調和の美しさ、癒しの音楽です。

ヴィーナス、私たちの準備はできています。

私たちは、共に金星のエーテル神殿に入り、あなたの教室に座っています。記憶を呼び覚ます準備ができています。

愛を込めて

リブ・モカイ・ウィーラー

コントンプレセレモニー音源

<https://soundcloud.com/metaphysicstsushin/messages-from-venus-a-kontomble-divination-ceremony-with-liv-mokai-wheeler>

金星からのメッセージ 日本語版スクリプト

リヴ : これは私たちにとって、理性の時代を脱し、可能性の時代に入るチャンスです。

リヴ : 準備はいい？フローレンシア？

フロー : ええ。

(ベルとラトルを鳴らし、リヴとフローレンシアがスピリットを呼び出す)

(富士山に捧げる歌 06 ; 16~)

リヴ : コントンブレに「今ですか？」と聞いたら、違うと言われました。何が必要なのか聞くと、みんなのトーンを合わせる必要があるそうです。一緒に音を出して、トーンを合わせるのです。あなたのミュートをオフにして、「アー」という音を作ることができれば、何であれ、あなたの口から出たものであれば、音を合わせるすることができます。

(グループは一緒にトーンを合わせる)

(コントンブルのことば 10 : 16~)

リヴ : OK、つながりました。シルヴィーかフローレンシア、私の声が聞こえますか？私に返事をできる人がいるか知りたいです。

シルヴィー : ええ、聞こえています。

リヴ : 大丈夫？

シルヴィー : 聞こえています。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンブレは、金星とつながっています。彼女(金星)が伝えているのは、人々がお互いに仲良くなることを学ぶなら、共に歌えるようになる必要があるということです。もしそれができない、共に歌う方法を知らないなら、どうやってつながるのでしょうか？もし一緒に歌わないなら、どうやってお互いにつながることができるのでしょうか？それは比喻ではありません。コミュニティは、共に調和する方法を知る必要があります。エネルギー的にだけでなく、実際に歌を通してです。歌を通して。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼女が言うには、かつて地球上に存在し、共に繁栄してきたコミュニティは、いつも共に歌ってきました。一緒に歌ってきたのです。歌を歌う人、または誰かと一緒に歌ったことがある人は、コミュニティの中で歌うことは、互いに調和し、相手の声に耳を傾けることだと知っています。ただ歌うだけではないのです。歌いながら相手を受け止め、自分の声を見つけ、相手と調和する場所を見つけることです。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼女が言っているのは、基本的にうまく機能しているコミュニティの中心には、常に芸術があるということです。芸術…。芸術…。芸術…。

リヴ : コミュニティにとって重要なのは、人々をまとめる機能が何であるかを見分けることだと言っています。ええ、彼女はそのように言っています。私たちをまとめる機能は何か？

(コントンブレのことば)

リヴ : コミュニティの健康状態や老朽化の度合いは、そのコミュニティを束ねているものが何かで分かります。機能不全やゴシップ、あるいは低いエネルギーといったものがコミュニティを束ねているなら、それはまるで他の人をうちのめすことで団結しているようなものです。たとえば…、そうですね、私が今見せられたのは、たとえばトランプ大統領を倒したいという気持ですらも、そのような可能性があるということです。金星のコミュニティは、他の人を倒すことで団結したいとは思いません。それよりも精神の高揚を望んでいます。精神の高揚です。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンブレによると、金星人の哲学はダンスとシンメトリーの中にあるということです。それはちょうど、美しいデザインの織物のようです。彼女が見せてくれています。このデザインはミステリーサークルのようなものを思い起こさせるデザインで、美しいシンメトリーなパターンが織り込まれています。このデザインの中に入ると移動する動力装置のようです。その中に入ると、それはフィボナッチ数列か何かのようになっている、中に入るとカタパルトのように跳ね返されます。中に入ると、カタパルトのように跳ね返されるのです。デザインが動力なのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : エネルギーを生成し続けるには、歌が必要です。うーん……誰かが歌を歌ってもいいですし、供物を捧げるのもいいです。強いフォースフィールドが作られつつあります。私の声が聞こえますか？

シルヴィー : ええ、聞こえています。

リヴ : よかった。

(セレモニーの参加者が歌を歌い出す)

リヴ : その調子です。

(引き続き、セレモニーの参加者が歌い続ける)

リヴ : ありがとう。

(コントンブレのことば)

リヴ : 金星の影響を理解したいなら…

(コントンブレのことば)

リヴ : そのエネルギーは $1+1=3$ 、そして $3+3=9$ 、さらに $9+9=81$ のようなものだと言っています。ええ、そして…。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らはこう言っています。もしあなたの存在や構造の中にある金星の原理を理解したいなら、あなたのクラウンチャクラに注目してください。

(コントンブレのことば)

リヴ : 基本的に金星の原理は…、金星の原理は、私たちのクラウンチャクラだと言っています。私たちのクラウンチャクラは、私たちが達する最高の成果のようなものです。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは言っています。私たちは、誰もが最高の成果であるクラウンチャクラに素早く到達できるわけではありません。

(コントンブレのことば)

リヴ : 言葉を変えれば、骨盤の内側に潜んでいる様々なトラウマがあると、クラウンチャクラの達成を急ぐことができないのです。私たちは一足飛びに進むことはできませんし、ジャンプしたところで、重力で引っ張られしまいます。

(コントンブレのことば)

リヴ : また、金星への上昇は、すべてのチャクラを正しく揃えることだと言っています。骨盤で囲まれた内側には、特定のレッスンやトラウマがあります。クラウンチャクラへ一足飛びにジャンプして。上昇することはできません。彼らが勤めるのは、魂を豊かにすることです。つまり、骨盤の内側は、私たちが根を張る土壌であり、十分な草取りをして、遠くまでずっと旅をして、旅をして、旅をして、旅をして、旅をして、旅をして、ようやく彼らが言う金星のスピリットや、金星の神殿に到達することができます。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは、このメッセージを聞いている人たち全員に、はっきり伝えたいことがあります、心の呼び声を聴かなかつたり、この“戴冠式”に招かれていなければ、みなさんはここにいません。彼らは、みなさんが十分に自分の土を耕してきたことを認識しています。ですから、私たちはここにいて、金星の戴冠式に参加しているのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : それは、この物理的な次元に流れているものとは、全く異なる言語であり、全く異なる発音です。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼女が伝えているのは、裸の骨なら、ええと…、なんて言えばいいのかしら…、摩擦…、そう摩擦があったときに、どうやって互いを合わせればよいかを知っています。摩擦のある時にです。たとえば、誰かがこうすべきだと言って、私がそれは違うと言うとします。その考え方は、私たちそれぞれの立場で設定されたものです。つまり、あなたがそうすべきと言うのは、あなたがその文化から来ているからで、だからそうすべきだと考えます。私はそうではありません。あなたはその文化の出身ですから、そうすべきだと言いますが、私は違います。摩擦とはそのようなものです。

(コントンブルのことば)

リヴ : ともあれ、彼女が伝えているのは、気づきや意識のレベルとは、裸の骨だと言うことです。その骨で、あなたは神殿の中に入ります。基本的に、自分とは反対の意見にどのように同意するかを思いつかないなら、金星の神殿に入る方法も分かりません。反対意見に同意しなければならないこともあります。彼女が言うには、それが神殿に入る方法の骨子なのです。意見が合わないという事実で同意する、または相手に合わせることで同意する、それとも、第三の道を見つけることに同意する。いずれの方法でも構いません。反対であることに同意するか、調和することに同意するか、もしくは、第三の道を見つけることに同意するかです。金星のやり方は、私たちとは違います。違うんです。なぜなら、そこには私たちが通うのとは違う学校があるからです。そして、地球は特別な種類の学校です。金星はそうではありません。私たちは腕相撲をしているようなものですからね。彼らはそんなことをしません。

(コントンブレのことば)

リヴ : 実を言うと、この地球神殿の学校では、大体そのようなことが起きています。私たちは、人間として何をしているのでしょうか？ 私たちは人間として何をしているのでしょうか？ いわゆる科学や、そのように高度な学問の話ではなく、実際、私たちは何をしているのでしょうか？ 私たちは、あなたはあなたのままでいいということを学んでいます。それは自分についても同じです。あるいは、第三の道を歩むこともできます。あるいは、同意しないことに同意することもできます。同意できますか？

(コントンブレのことば)

リヴ : それでもなお、この瞬間もコントンブレは金星を通じてチャネリングしています。彼らが言うには、それでも彼女はエネルギーを調整のようなことをしてくれています。“彼らはこれ

が扱えるかしら”、“彼らは何に取り組んでいるのかしら？”、エネルギー的に、彼らは何かに取り組んでいて、それを声に出さないのかも知れない“と。彼女は私たちと一緒にワークする準備ができていますか？

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らが言う、または示しているのは、彼女は無限の神殿だと言うことです。彼女は無限の神殿です。終わりがなく、無限の可能性を秘めています。彼女は無限の神殿なのです。しかし、私たちは…、本当に私たちは、無限に向かう準備ができているのでしょうか？ それとも、まだボクシンググローブをしていますか？ 私たちは、自分がどこにいるか分かっていますか？ どこにいるかは言わなくても、実際、どこにいるのでしょうか？ 本当はどこにいるのでしょうか？ シルヴィー、あなたが歌ってくれたら、彼らは続けるわ。それから、フローレンシア、あなたもシルヴィーに加わって。

(二人、歌う)

リヴ : ありがとう。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンブレが言っているのは…。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンブレが言っているのは、このセレモニーで、彼らは信号を呼び入れて、こちらからも呼びかけをして、本質的にこのやり取りは、金星のエネルギーの司祭のようなものです。それが、金星の巫女です。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らが言っているのは、彼らは呼びかけをし、あなたたちはそれに応じました。なぜなら、あなたたちは応じることになっていた存在だからです。それから…、ええと…。

(コントンブレのことば)

リヴ : だからこそ、自分自身の内面を見つめて、何が可能なのかを考えてほしいと言っています。何が可能なのでしょうか？ 何が可能なのでしょうか？ 何があなたの内なる神殿を乱しているのでしょうか？ 何が可能なのでしょうか？ 何があなたの内なる神殿を乱しているのでしょうか？

(コントンブレのことば)

リヴ : 金星の神殿は、想像上の空間のようなものです。架空ではなく、想像上です。架空ではない、想像上のものです。

(コントンブレのことば)

リヴ : それは回廊…、銀河中心に続く回廊としても機能するそうです。銀河の中心、銀河の軸点へ。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らによると、心を開き、心を込めて金星の音の神殿に入れる人たちにとって、達成できないものは何もありません。可能でないものは何ですか？ 音は分子構造を再編成します。それから…。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らが言っているのは、多くの人が…、これはアメリカ人のことを指していますが、多くの人が戦争マシンのようになっています。その理由は…。

(コントンブレのことば)

リヴ : 私たちはプログラムをダウンロードされているようなものなのです。私たちは戦争マシンだというプログラムを。分かりますよね。基本的に、今、彼らが見せてくれているのは、人間としての私たちは多次元的な存在だと言うことで、それは…。

(コントンブレのことば)

リヴ : ゆとりと優しさがある…、ゆとりと優しさがあると言ってるのでしょうか…、それが…。

(コントンブレのことば)

リヴ : それが人間にとって大事なことですし、それがないと人間は無関心になります。変化を生むか、無関心になるか。彼らの無関心は、変化ではありません。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンプルは、金星がそれを見せていると言っています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 金星が見せてくれているのは、コミュニティでもグループでも、それから何でもいいのですが、たとえば都市でも、規模はどのようであれ、それを成功させるためには…。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼女が言っているのは、基本的に私たちの分子構造や分子も、同じように振動する必要があるのです。または先ほどお話ししたように、音楽でもいいのですが。

(コントンブレのことば)

リヴ : それには…。

(コントンブレのことば)

リヴ : 何かがあるのです。コミュニティをまとめる何か。そこに美しく複雑な違いがあり、それらをまとめる力があると認識することでもあります。“そうそう、私たちみんな、この手の音楽が好きなんだよね”という感じです。それが何であれ、構いません。全員を一つにする何かがあって、だからこそ人々は集まることを選びます。そうでなければ、通り過ぎてしまいます。明らかに、この集まりをまとめている力のひとつは、少なくともその一つは、ここにいる私たちが皆、スピリットとつながっているということです。金星とつながっています。それから…。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンプルが話したいそうですが、フローレンシア…、いいかしら？

フロー : こんにちは、コントンプル。みなさん、こんにちは。えーと、私は今から…。

リヴ : どうしたの？ええ、言ってみて。言ってみて。

フロー : プレッシャーや摩擦。あなたたちが話しているのは音のことですよね。

リヴ : もっと話して。

フロー : 圧力は、すべてのものを元の状態に戻してくれます。

リヴ : そうね。もっと話して。

フロー : 摩擦は、すべてを元の状態に戻します。それは幾何学的な形を作り、シンメトリー（左右対称）

を生みます。

リヴ : もっと話して。

フロー : それは調和を生み出します。摩擦と同じで圧力も、物事を整えるための完璧な空間を作り出します。

リヴ : いいわね。

フロー : それは内にあり、それは外にあるものです。

リヴ : ええ、続けて。

フロー : そうですね。だから基本的には...

リヴ : 知っていることを話してください。

フロー : この再編成は私たちの中で起きています。人類のレベルでも、宇宙のレベルでも。

リヴ : ええ、続けてください。

フロー : 正しいつながりに戻るために。

リヴ : もっと話して。

フロー : ええ。そして、金星、コントンプレが金星について表現していることを感じると、この包容力、この協力、すべてが私たちの中にあることも感じます。

リヴ : そうそう、あなたが知っていることを話して。

フロー : まだ、私たちの中には私たちである部分と、私たちが受け入れることを拒む二元性の部分があります。私たちが抵抗を感じる部分です。その部分もシンメトリー（左右対称形）の中に統合する必要があります。この調和の中に。内側と外側は同じものとして。ミクロとマクロとして。この調和、シンメトリーへの回帰、完全な秩序への回帰は、私たち自身の二元性との関係でもあります。それが調和と、完全な実践をもたらすように感じます。

リヴ : ふむ…。

(コントンプレのことば)

リヴ : コントンプレは、こう言っています。まだ話していないことを話してください。まだ話していないことがあります。言っていないことを言ってください。まだ核心を話していません。話してください。あなたがまだ話していないことを話してください。

フロー : ええ、たぶん私が言っていないことは...私たちは外を見続けているということです。特に今、私たちに必要なものは自己の尊厳だと、私たちは知っていますし、ずっと話題にもなっています。けれども、私たちはその意味を求め、真実を求めて、外に目を向け続けています。

リヴ : もっと話して。

フロ : まるで、それが外側にあるかのようです。まだ外を見続けているのは、実際に私たちは、それがどんものか知らないからです。真実の中に自分を根付かせようとするかわりに、ただ、外から真実を眺めているようなものです。しかし、真実とは、メンタルなものではありません。

リヴ : どのようなものですか？

フロー : それは、心の中にあります。心を通じて、実際に感じていることを通じて、自分の条件付けを剥がし、深く入って、実際、自分が本当に何を感じているのか見つけ出します。それは、秩序を取り戻すことです。それによって、自己の尊厳を見つけることができます。私たちはまだ心の中で精製させているところです。金星が私たちに伝えようとしているのは、理解の領域から非論理の領域への移動方法です。可能性の箱を突破し、広げることです。

(リヴが同意し、頷く)

フロー : それは遊びによって見つけます。探求を通じて見つけます。何かを自分の外側に置くための創作ではなく、内側に置くための創作を通じます。自分の内側に創造するのです。今の時代、人間であることの本当の意味は何なのでしょう？ 不可能なものはないとは、どういう

ことでしょうか？ 多次元的存在とは、どのようなことでしょうか？ これらの概念は、どのようなものなのでしょうか？ これらを心の中に取り込み、思考ではなく経験で動かすことができるのでしょうか？

リヴ : ええ、ええ…。

(コントンプレのことば)

リヴ : コントンプレは、あなた方一人一人に代わって、地球にたくさんの種を植えられると言っています。

(コントンプレのことば)

リヴ : 彼らが、あなたたちに代わって蒔くことができる最高の種は…。

(コントンプレのことば)

リヴ : 基本的には野生の種。野生の種。無頓着な種とすら言っています。

(コントンプレのことば)

リヴ : 野草のような感じです。

(コントンプレのことば)

リヴ : コントンプレ、彼らは足を踏み鳴らして、こう言っています。野生の花に火が点く！野生の花に火が点く！野生の花に火が点く！野生の花に火が点く！それぞれの花に火を点けて、野生の花が燃え上がる！

(コントンプレのことば)

リヴ : 彼らは質問をどうぞと言っています。コントンプレやヴィーナスに質問があれば、どんなものでも、彼らは質問を伝えることができます。しかし、彼らはあなたに向かって言っています。野生の花に火が点くと。誰があなたを家畜化されたと思わたのですか？あなたは遺伝子組み換えされた花ですか？そうではありません！野生の花に火が点きました。誰があなたを家畜化されたと思わたのですか？さあさあ、最初の質問をしたい人は、どうぞ。

参加者 A : では、私から質問します。コントンプレ、こんにちは。私が知りたいのは、野性の花である自分を生きるためには、どうすればいいのでしょうか。

(コントンプレのことば)

リヴ : 決められた型にはまらないよう(※注：原文では color outside the lines = 規則に従わない)よう、お互いに励まし合うことだと言っています。うーん、あなたも知ってるかも知れませんが、コントンプレが言うには、それは一つの方法ですが、複数の意味を持っています。決められた枠に収まらないこと。

(コントンプレのことば)

リヴ : お父さんが言いそうなことですね。「塗り絵とは白黒つけることで、それ以外はどんな色でも冒涇だ」と。でも、コントンプレは言っています。いやいや、そんなことは信じないでください、父親や家長の言うことを信じないでください。いろいろな色があるのです。線をはみ出して色を塗ってください！

(コントンプレのことば)

リヴ : それから、彼らは言っています。多くの方法、様々なやり方で、線をはみ出して色を塗ることが重要だと理解してください。様々なやり方で、線をはみ出して色を塗ることがとても重要だと理解してください。

(コントンプレのことば)

リヴ : 彼らは言っています。言うまでもなく、ドラゴンは準備ができています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは以前にも、ドラゴンは壮大な保護者だと言っていました。前にも聞いたことがあります。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らの話は、そのような感じです。他に誰か聞きたいことがあれば、質問してください。

参加者 B : はい、質問があります。コントンブレ、ありがとう。私たちが自分の野生の花とメディシンに火を点けるためにできる、特定のプラクティスはありますか？ 私たちのワイルドフラワーと私たちのメディシンに火を点けるために役立つ何かです。特定の儀式のような？

(コントンブレのことば)

リヴ : あなたは土に種を植えて、水を撒くことができます。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは冗談を言っているのです。冗談です。そして同時に、彼らは真剣です。彼らは冗談を言うように、真面目ことを話します。

(コントンブレのことば)

リヴ : 基本的に彼らが言っているのは…、そう…、基本的に彼らが言っているのは、これまでの文化は、物質主義者がいて、文化を重んじる人たちがいました。そして、彼らが言っているのは、そこに分離はないということです。基本的に彼らが言っているのは、分離はないということです。地球と関わることは、私たちの持つスピリチュアルな機能です。このような方法で地球と関わることは、スピリチュアルなことなのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : そして、コントンブルは、スピリチュアリストとして、大地に種を植えていくことが本当に大切だと言っています。その架け橋になることが、とても重要なのです。なぜなら、彼らはそもそも分離するようには意図されていなかったからです。

(コントンブレのことば)

リヴ : それが、コントンブレの伝えていることです。それが、彼らの求めていることです。彼らがスピリチュアリストと呼ぶみなさんが、外に出て、地球と関わるよう求めています。彼らは明らかに、みなさんがエーテルと深くつながっていることを知っています。ですから、そのつながりの心を持って、地球とつながることを求めているのです。そして、そのような方法で種を蒔いてください。それが彼らの求めていることであり、この時代が私たちに求めていることなのです。それが統合です。異質なもの同士の結婚です。異質なもの同士が、一つになるのです。白か黒かではなく、どちらもイエスです。女性的でも男性的でもない。どちらもイエスか、どちらでもありません。黒でも白でもない。それはイエスであり、両方です。それは天国でもなく、地球でもない。どちらもイエスであり、両方です。地球か、金星かではなく、どちらもイエスであり、両方です。反対のもの同士の結婚。それは二項対立であり、パラドックスです。パラドックスは、癒されたいと願っています。分かりますか？ 彼女が彼かではありません。両方です。黒か白かではありません。両方です。上か下かではありません。どちらもイエスです。地球ではなく、金星でもない。どちらも両方です。どちらもイエスとは、どのような意味でしょうか。両方にイエスとは、どのような意味でしょうか。それは、どのような意味になるでしょうか。論理的ではありません。抽象的でもありません。それはイエス&イエスです。イエス&イエスは、何を生み出すのでしょうか？ 分かりますか？ アフリカでもないし、北米でもない。それはイエス&イエスです。反対になっているのです。どちらでもないことにイエスです。イエスは、何を生み出すのでしょうか？ あなたは分かりますか？ 私たちは地球にいて、金星につながっています。それは姉妹の惑星と言われています。ですから、イエス&イエスなのです。これでもないし、あれでもない。どちらでもないことにイエスです。私たちは二項対立の現実の中にはいません。一つに合わさり、統合して、イ

エス&イエスを求めているのです。イエス&イエスとは何でしょうか。誰も、間違っただけの生まれとして生まれて来る必要はありません。イエスとイエスなのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : 終わりに当たって、コンタンブレはこう言っています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 基本的に、あなたたちはこれを持っています。私たちはみな、これを持っています。このエネルギーフィールド、フォースフィールドを持っています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは、私たちには毎日、この機会、この選択の時があると言っています。私たちはどうやってエネルギーを使うのでしょうか？フォースフィールドをどのように使うのでしょうか？

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らが言うには、私たちは条件付けをされていて、たとえば「あの人はあんなことをすべきではない」などと考えます。そのような人たちは、線をはみ出して色を塗っているのです。彼らは、はみだし駐車をしているのです。彼らは、外に出てはいけない時に、外に出ているのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : コントンブレは、これはエネルギーフィールドの残念な使い方だと言っています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らが言うには、あなたたちのエネルギーフィールドは、多次元的になれるのです。外に向かって、外に向かって、外に向かって、外に向かって、外に向かって、無限に広がっています。

(コントンブレのことば)

リヴ : 私たちが摩擦ポイントに入ったとき、それは会話や友人との間で、あなたはこれを信じていて、私はこれを信じていないと言うときに、私たちは摩擦ポイントに入ったと言います。その時、摩擦ポイントで、私たちは創造力を用いることができます。その時、摩擦ポイントで、私たちは創造力のエネルギーを用いることができます。それは珍しい花を育てるようなものです。この変わった花は、その空間からすうーっと生えてくるのです。

(コントンブレのことば)

リヴ : 彼らは、摩擦を恐れるなど、私たち全員を励ましています。摩擦の空間に入ってください。摩擦の空間に入って、反対のものにであることができる存在になってください。実際に彼らはそれを喜んでいて、あなたはそう思うでしょうし、私もそう思いますし、それは楽しいことです。その空間に入ってみましょう、そしてそこに入ると、第三の空間、第三のものを作ります。

(コントンブレのことば)

リヴ : それは基本的には、金星のエネルギーフィールド、もしくはフォースフィールドだと言っています。それは金星のエネルギーフィールド、もしくはフォースフィールドなのです。生命のエネルギーフィールド、生命のフォースフィールドです。三位一体。あなたがそこに入れば、それは聖なる三位一体のようです。

(コントンブレのことば)

リヴ : とにかく彼らが言いたいのはそれだけです。彼らは私たちの問題は解決したと言っています。

(最後に、参加者全員が歌を歌う)

リヴ : OK、美しい魂たち。ぜひみんなで 壮大な美しさを創造しましょう。みんな愛しています。また会う日まで。

(参加者が感謝と別れの言葉を伝える)



Photo Credit: Zen Cohen

Liv Mokai Wheeler

Liv Mokai Wheeler is a Kontomble Voice Diviner and international ritual leader who has dedicated her life to reweaving the human experience with the Sacred. For the past 15 years, Liv has traveled throughout the world connecting people to the vast ecologies of Spirit that exist in all communities. As a voice for the Kontomble, the Little People of Burkina Faso, she has reignited people's awareness of the spirit realm across cultures and landscapes. Liv's work is powerful and heart-centered, offering the deepest respect for self and Spirit. Liv reconnects individuals and groups of people with the very real experience of a spiritual world that is as complex and intricate as the one we experience in our daily physical lives. She embodies the initiated feminine role of priestess and guide. Her work is genuine, heartfelt, courageous, and uncompromising, teaching all who experience the Sacred with her to approach it with the utmost respect; to treat ancestors and relatives in the realm of spirit with the reverence and dignity they deserve. Ultimately, Liv is dedicated to restoring what is human to humanity, in the embodiment of the heart, dignity, courage, and humbleness befitting a person that understands that we are here to serve what is Sacred, feeding the unseen so that it, in turn, may continue to feed Life.

Guided by the Kontomble, Liv has completed several international tours guiding people in processes of healing and spiritual remembering. She published her first book, *With the Love of the Ancients: My Spiritual Journey of Remembering* (2018) and produced a full-length feature documentary, *The Remembering*, filmed in Mongolia and released in 2019. Most recently, Liv started the Kontomble Medicine School, *Earth's Amulet*. For more information on Liv and *Earth's Amulet*, visit www.earthsamulet.com.

You can find more information about Liv Mokai and her work at the following links:

www.ancestorbridge.com/

www.earthsamulet.com/

www.theremembering.net/

www.instagram.com/kontomble_medicine/

www.youtube.com/channel/UCV1KzYx6CFISD9gbKyg1n1g



Photo Credit: Dyanna Csaposs of Serpen Collective

Florencia Barolin

With a life touched by both traditional and modern healers since her youth, Florencia Barolin has developed a practice as a bodyworker and healer that is as informed by the ancient as it is by the evolutionary insights of today.

Diagnosed with stage three cancer at the age of 29, she made a comprehensive, radical shift in all dimensions of her lifestyle with the intention of healing her cancer, which she successfully and miraculously did, and from there she began developing her healing gifts and work of helping others.

Since working with Liv Mokai Wheeler, Florencia has also matured into her relations with the Whales as her primary helpers, utilizing their medicine and

company for doctoring, clearing, delivering activations, and reigniting people's ancestral awe and reverence for the oceans and all of their infinite life.

Florencia currently lives in Asheville, North Carolina, where she has her quiet but growing practice. She is also mother to one of the sweetest daughters in the world.